

葛城市市勢要覧 2014

葛城

Municipal Handbook of Katsuragi City
Katsuragi

ともに創る
ともに生きる

Rebuilding together
Living together



奈良県
葛城市

平成16年、葛城山かつらぎさんと二上山にじょうざんのふもとで誕生した新しいまち葛城市。
今年、市制10周年を迎え、
今後もますます輝き続けるまちとして、新たな一歩を踏み出します。

ともに創り ともに生きるまち、葛城

葛城市は、平成16年10月1日、新庄町と當麻町が合併して誕生しました。平成の大合併の中、奈良県内では初の合併となりました。

中將姫伝説で名高い當麻寺や飯豊天皇陵、相撲の開祖といわれる當麻蹶速など、葛城山と二上山のふもとで豊かな自然とともに育まれてきた2つのまちの歴史と文化が新しいまちに受け継がれました。また、南阪奈道路葛城ICを中心とした都市機能の充実による利便性が向上し、大阪方面へのアクセスもより良くなり、さらに住み良い魅力を備えたまちへと発展しました。

これからも葛城市は自然や歴史を大切に守り、市民とともに未来へ向かって歩みます。まちは人々のたくさんの手によつてともに創られ、これからもともに生きていくのです。

奈良県 葛城市

Katsuragi City

位置

奈良県の北西部に位置

人口(平成26年4月1日現在)

36,858人

面積

33.73km²

葛城市は奈良県の北西部に位置し、北は香芝市、東は大和高田市、南は御所市、西は大阪府南河内郡太子町、河南町と接しています。そして、二上山から葛城山西部の山並みと、東に広がる平野部（奈良盆地）で構成されたまちです。市内には近鉄南大阪線と近鉄御所線、JR和歌山線が通り、京都・大阪方面へのアクセスも良好です。また、自動車で南阪奈道路葛城ICを利用すれば、大阪・松原JCTと、約15分で結ばれる近距離にあり、関西国際空港からも60分程度です。自然と歴史が豊かでありながら、大阪市近郊という恵まれた立地を備えています。

葛城市へのアクセス



車の場合

大阪方面からは、南阪奈道路葛城ICまたは西名阪自動車道柏原ICで下車。京都方面からは、西名阪自動車道香芝ICで下車。新庄庁舎へは葛城ICから南へ2.9km、柏原ICから南へ13.0km、香芝ICから南へ10.5km。當麻庁舎へは葛城ICから北へ2.6km、柏原ICから南へ8.8km、香芝ICから南へ7.4kmです。



電車の場合

葛城市内には、近鉄とJRを合わせて7つの駅があります。近鉄では、尺土駅には、特急と急行も停まります。大阪阿部野橋駅から準急で約35～45分、特急または急行で約30分です。新庄庁舎へは近鉄新庄駅から徒歩約1分、當麻庁舎へは當麻寺駅または磐城駅から徒歩約5～8分です。

Katsuragi, the City to Rebuild and Live Together In

Katsuragi City was officially founded on October 1, 2004 with the merger of the towns Shinjo and Taima. The history and culture of the two towns, which developed from the richness of nature, still lives on today. As conveniences improve from the enhancement of urban functions and from the opening of Katsuragi Interchange of Minami-Hanna Road, the charm of easy living on the city grew. Katsuragi City continues to pursue a future for its citizens while carefully preserving nature and history.

1番最初の 相撲の地

『日本書紀』によると、大和国の當麻邑にいた當麻蹶速(たいまのけはや)は、出雲国の野見宿禰(のみのすくね)と力比べを行いました。これが相撲の始まりといわれています。

「このまちがいちばん
人々の誇りが
輝き続けるまち」

葛城市は、相撲発祥の地と伝えられるとともに、日本初の官道である竹内街道や當麻寺など多くの歴史を持つまちです。産業では、全国生産量1位を誇る二輪菊があります。また、平成25年度には、小・中学校の耐震化工事完了100パーセントを達成するなど、住み良さの醸成にも取り組み、県下で一番目に合併したまちとして、数多くの誇りが輝いているのです。



第1章

葛城が

いちばん

—日本一のまちづくり—



日本で1番 古い官道(国道) 竹内街道

飛鳥の都と難波を結ぶ日本最古の官道(国道)が竹内街道です。現在も屋敷跡や宿場町の面影が残るまちなみは、かつて人や物の往来が盛んであった様子を思い起こさせます。



生産量 **1**位の 全国 **1**位の 二輪菊

昭和50年代に始まった二輪菊の栽培は日本一の生産量を誇ります。一本一本丁寧に芽かきをするなど大変手間のかかる作業と徹底した品質管理を行い、日本一のブランドを確立しています。



合併 **10**周年

平成16年、奈良県内初の合併を成し遂げた葛城市。合併して早くも10年の歳月が流れ、豊かな自然や歴史文化の良さはそのままに、都市基盤などの住み良さを備えたまちに成長しました。



新西国三十三箇所

第 **11** 番札所 二上山當麻寺

中将姫(ちゅうじょうひめ)伝説で有名な當麻寺は、白鳳時代の栄華を現在に伝える寺です。国宝や国重要文化財を数多く保存し、新西国三十三箇所第11番札所として今も多くの参拝・観光客が訪れる場所となっています。



市内小・中学校の

耐震化率 **100**%

市内小・中学校の耐震化工事の取り組みを進めてきましたが、平成25年度で完了し耐震化率100%を達成しました。引き続き、子どもが安心して学ぶ環境を整えるため、幼稚園や保育所の耐震化を促進していきます。

Katsuragi is the Best -Rebuilding of the Best City-

Katsuragi City is said to be the birthplace of Sumo as well as Takenouchi-kaido Road, the first road in Japan to be built with government expenditures. There are also many other historic sites including Taimadera Temple. We are proud of our production of the Twin-flowered chrysanthemum, which is the largest production of chrysanthemums in Japan. In 2013, all schools in the city were given seismic retrofits so that our children can learn in safety.

子育て支援 子どもは宝地域で見守る 子育てのまち

子育て支援センター つどいの広場

親子が自由に参加し、一緒に遊びながら子ども同士・親同士が関わることで
きる場所として開放されています。年齢
別のつどい、お話や童謡を楽しむ日もあ
りたくさんの親子に利用されています。

葛城が いちばん ——日本のまちづくり——

新庄幼稚園・ 磐城第2保育所の改築

市内の幼稚園、保育所の改築により
受け入れ人数を増加しました。待機児
童の減少にも繋がっています。

地域の人々が差し伸べる
たくさんさんの温かい「手」
だから葛城で育てたい

子育て支援は、子どもが生まれる
前から始まっています。市では、妊婦
健診の助成はもちろん、保健師や助
産師による訪問や妊婦教室の開催に
よって妊娠中から心身を整える支援
をしています。さらに、子育ての悩
みを抱える保護者への支援として、専
門員を健診会場や保育所・幼稚園に
派遣するなど、子どもの発育面や、

その他さまざまな悩みの相談がしや
すい環境が整っています。子育て支援
センターでは、子育て中の親子が安心
して過ごせる遊び場を提供したり、
子育ての交流を通して悩みを相談で
きる「つどいのひろば」を実施してい
ます。また、未就園児（0・1・2歳児）
を対象に同年代の子どもをもつ親子
の「年齢別つどい」もあります。
子どもを生み育て、安心して働ける
よう、保育所や幼稚園の改築、受け入れ
人数の増員などの対応を進め、今後も安
心できる子育て環境を整えていきます。

真新しい教室や廊下は、バリア
フリーの設備や空調が整っ
ており、子どもたちが安全・快
適に過ごすことができます。

[Childcare support] Children are our treasure; communities watch over them City of Parental Care

In Katsuragi City, consultation
services and backing for health
check-ups are provided for
pregnant women. It has assis-
tances such as personal visits
from nurses and doctors, and
stresses on the importance of
health and support, especially
during a woman's pregnancy.
For new parents who have
common worries about raisin
their new child, programs are
available in which knowledge is
shared from parent-to-parent.
“Square of Gathering” is one of
these programs. This is all
other services are located in
the child care support center.

ココがいちばん！

妊娠中のふたりで 育てる赤ちゃん教室

赤ちゃんとふれあうことが少なく、産後の
不安が高まる方が多くなっています。そこ
で妊娠中から赤ちゃんを抱いたり、先輩
ママから育児の話を聞いたり、夫婦で赤
ちゃんがいる生活をイメージすることで赤
ちゃんとの絆を深める支援をしています。

親と子の絆づくり プログラム(BPプログラム)

親が子どもと穏やかに向き合えるよう
になることを目的に、育児の方法を学
んだり、母親同士の交流を楽しみなが
ら子育て仲間を作って孤立感・育児ス
トレスも軽減する子育て応援プログラ
ムです。初めて子育てする母親とその
子どもを対象に実施しています。

つどいのひろばで
親子ともに一歩を
踏み出せました

子どもが1歳になる前から利用
しています。市外から引越して
きたので、公園などで知り合いを
作るのも難しく、ここなら年
齢別のつどいもありますし、習った
手遊びを家でもやってみたりして
楽しんでいます。親同士の交流は
もちろん、先生との関わりも重要
です。子育てや暮らし全般につい
て相談をよくさせていただきま
す。実は子どもの場所見知りや人
見知りもあって、一時来ることが
苦痛に感じてやめてしまった時期
もあったんです。けれど、このま
まではいけないと思って再び通い始
めたら、少しずつ子どもも親の元
を離れて遊ぶようになりました。
子どもの成長を見て、ここに通っ
て良かったと確信しました。まず
は1時間でもいいので、気負わず一
歩を踏み出してほしいですね。

「健康・福祉」

体が資本 元気が輝く

健康のまち



特定健診

40歳以上の方を対象とした生活習慣病予防と生活習慣の改善のための健康診査です。市では市民の健康のため、啓発パンフレットなどを活用し、受診を勧めています。

葛城が いちばん ——日本一のまちづくり——

おたがいさまサポートハウス 買い物支援／健康管理

公民館や福祉総合ステーションにおいて、タブレットによる買い物支援と健康づくりのアドバイスなどのサポートを受けることができます。

「ずっとこのまちで
元気に暮らしたい」
思いを実現するまち

葛城市では乳幼児健診や特定健診、高齢者を支える制度など、多様な年齢層にあわせた支援や取り組みが豊富です。スポーツアドバイザー制度は、子どもから高齢者までがスポーツに親しめるようにと、トップアスリートを迎え、各施設で講演や実技指導を行っています。「おたがいさまサポートハウス」では、買い物が困難な方に、ネットスーパーでの買い物を手伝ったり、日々の健康管理を支援する市民コンシェルジュと呼ばれるボランティアが在籍しています。彼らの支えによって、市民の健康意識を高めています。

また、第2期葛城市健康増進計画「さらり葛城21」・葛城市食育推進計画では、栄養・食生活、運動習慣、喫煙対策、こころの健康、歯の健康、といった生活習慣の改善と生活習慣病の予防の取り組みが考えられており、地元産の食材を活用したレシピも充実しています。「ずっとこのまちで元気に暮らしたい」そんな市民の思いを実現するために、まち全体で保健医療体制の整備を図っています。

[Health and social services]
Health is our greatest asset
and is at a high level.
‘City of Health’

Katsuragi City provides many choices of services depending on age, including health check-ups for infants as well as special health check-ups. Sports advisors show how to play sports and provide lectures at the sports promotion centers to people of all ages, from children to the elderly. “Home Mutual Support” supports daily health management, such as help with shopping for the households which find shopping to be challenging. In addition, various plans are available for persons with disabilities and for the elderly, as well as for the purpose of health promotion.



ココがいちばん!

「さらり葛城21」

市民一人ひとりが地域で自立していきいきと暮らせるように、市民・地域・行政などが一体となって、健康に関するあらゆる施策や目標指標を定めた第2期葛城市健康増進計画を策定しました。

【栄養・食生活】🍴さらり輝くバランスメニュー

【運動習慣】🏃フレッシュ

見つけてはじめる運動習慣

【喫煙対策】🚭カッコイイ!

たばこを吸わないヒーローだ

【こころの健康】🧠つながりが地域の元気保ちます

【歯の健康】🦷イバルに負けるな!チャレンジ!むし歯なし!

【生活習慣病の予防】👣ブアップ

しなで続ける健康づくり

「さらり葛城21」から広がった市民自主グループです。

万年青年歩こう会…毎月1回、5～7km歩いています。

たばこ対策推進パートナー…小・中学校へ防煙教室出前講座を行っています。

市民主体の健康づくりグループが活躍できるように支援していきます。

葛城市の皆が
健康で過ごせる
まちにしたい

平成7年に養成講座を受け、その経験を生かしたいと思い、翌年発足した健康づくり推進員協議会のメンバーとして活動しています。主な活動としては、大字での健康教室の開催や、市のイベントでの試食配布や手ばかり栄養法、健康クイズなどを通して栄養に関する情報の発信を行っています。またウォーキングイベントや健康体操教室を行い運動習慣の普及に努めています。その他、幼稚園や保育所に手づくりの紙芝居で食育活動をしたり、特定健診のPRのためにポスターや新聞を作成しています。

今後はさらに学習の機会を増やし、会員同士の交流を深め、新しい人たちにも参加していただき、「まちの健推さん」として健康づくりの輪を葛城市全体に広めたいと考えています。



安全のまち

〔安全・防災〕
備えは万全 命を守る



地域防災訓練

災害への危機感を持ち、万一の時に命が守れるように、毎年地域防災訓練を行っています。土のうづくりや初期消火訓練など、地震などの災害を想定した実用的な訓練内容を盛り込んでいます。

葛城が いちばん ——日本のまちづくり——

普通救命講習

葛城消防署の協力を得て、AEDトレーナー（練習用器）などを用いた救命講習会を継続的に開催しています。



[Safety and disaster prevention] Perfect preparation to protect lives. ‘Safe City’

The reason one can say that Katsuragi City is a safe city is based on the awareness of its citizens and the disaster prevention initiatives. In 2013, all schools in the city were given seismic retrofits. Presentations are performed at schools and businesses equipped with AED. Individual disaster prevention activities in the communities have been vital to the protection of lives and the communities in emergencies. -Traffic safety watch corps have been watching over children within the communities on a daily basis. “Safe City” accounts for perfect preparation to protect lives in emergencies.

また地域の人々が、日頃から子どもたちの安全にも目を配っています。万が一に備えて、万全の対策をとることで命を守ることができる「安全のまち」となっています。

AEDを設置している学校や企業で講習を行い、誰もが正しくAEDを使えるよう備えています。さらに、地域の自主防災活動も機能し、防災訓練をはじめ、いざという時に自らの命と地域を守ることができる体制を築いています。

大切な人を守るために
いつも忘れない
安全・安心の心

ボランティア「北花内の会」 子ども見守り隊

地域の子どもは地域で見守りたいという思いから、交通安全・不審者対策を目的に小学校の通学路に立ち、子どもたちの安全を毎日見守ります。



ココがいちばん！

地域防災マップ

市内の44地区で、災害時の危険箇所や避難場所への経路について聞き取り調査を行い、その情報に基づき、危険箇所を調査。避難経路などを示した防災マップを平成25年度に作成しました。



自主防災の要は
備えることと
地域間の交流です

平成19年から毎年1回、防災訓練や防災学習を行っています。防災訓練の3ヶ月前から、役員会にて訓練内容を議論します。メンバーは幅広い年齢層です。防災訓練はその時だけ集まっても、効果がありません。災害時は近所の人と助け合う必要があるため、日頃から周辺住民を知っておくことが大切です。尺土では、絆カードを使って、地域の家族構成の把握に努めています。毎年の防災訓練によって、地震を忘れない、連帯感を作る、そして絆カードの内容を更新しています。さらに地域で夏まつりなどのイベントを行い、コミュニティを繋ぐ工夫をしています。そうすることで、新しい住民との関係づくりや防災訓練の参加率向上にも繋がっていると感じます。



自主防災組織(尺土区長・副区長) 吉田 新之助さん、榊本 勲さん

〔協働〕

地域で協力ともに創る

みんなのまち

いきいきセンター

市内在住の60歳以上の方が無料で利用できる施設です。囲碁、将棋、テレビやお風呂などの利用の他、園芸やパッチワークなど生活をより豊かにする講座も実施しています。

葛城が いちばん ——日本のまちづくり——

市民情報特派員

市民参加による市民のためのインターネット放送局「かつらぎてれび」を運営します。市民目線での新しい形の情報発信が期待されます。



[Cooperation] Community cooperation for rebuilding life. ‘City for Everybody.’

People who have been trying to revitalize the city, activities for such goals and the places to have discussions can be spotted throughout in Katsuragi City. People age of 60 or older use the Ikilki Center to utilize their skills and pursue their interests. People who are masters of certain skills are sent to give lectures to citizens so that their skills will be used widely. Social gatherings are held locally to talk about human rights education as well. Volunteer citizens information correspondents have been providing information about the charms of Katsuragi City through “TV Katsuragi” on-line.

人権教育地区別懇談会

差別のないまちづくりのため、各大字において地元住民を対象にした懇談会を実施しています。これによりお互いの人権が尊重される社会の実現をめざします。



市民一人ひとりが
まちづくりの
担い手として
輝き続けるまち

葛城市ではまちを元気にするため活動する人や盛り上げるための場、話し合う場がたくさんあります。いきいきセンターでは、高齢者が仲間同士で交流し、さまざまな教室や講座を通して語り合います。まちではその他、地域の方の技術を活かすため、特技のある人を「まちの達人さん」として講師派遣するなどの取り組みや、人権などについて考える機会として人権教育地区別懇談会も

ココがいちばん！

市民活動支援事業

市民がより積極的にまちづくりに参加し、魅力ある葛城市を実現します。市が設定するテーマで市民が企画・提案する事業に対して補助金による支援を行っています。

あります。そんな葛城市の魅力がインターネットで発信するのが市民情報特派員。彼らはまちの魅力をクロージアアップする市民の代表です。

まちづくりは人づくり。市民と行政が協力し合って、新たな葛城市をともに創っていくことが今求められています。

みんなで支え合い
気軽に運動できる
場所づくりを

南道穂介護予防教室は平成20年の市の介護予防事業がきっかけでスタートしました。最初はストレッチを主体とした体操で、週1回90分の介護予防教室を行っていました。市の移動講座なども活用し勉強会も行い、常に参加者が飽きないように内容を考えています。最近では、高知市発祥のいきいき100歳体操を取り入れています。おもしろい入ったバンドをつけて体操をすることで、筋力をアップしようと考えています。年を重ねても筋力は十分きますよ。まだ始めて半年なので、1年間は取り組みでみようと思います。高齢者が運動を生活に取り入れるためには、やはり家から徒歩10〜15分程度の距離にこういった教室がなければいけません。高齢者の運動教室が増えることを切に願っています。



南道穂介護予防教室(南道穂ふれあい・いきいきサロン)リーダー 島田 好昭さん



東塔(国宝)と西塔(国宝)

當麻寺

東西両塔が創建当時の姿で残るのは全国でも當麻寺だけです。古代に建立された東塔と西塔の双塔が並び建つ風景は美しく、周辺の木々の彩りとともに季節によってその様相を変えます。また、平安末期和様の秀作である本堂(曼荼羅堂)は、古くあった堂を利用して改造し、現在の形にしたものと考えられています。



當麻寺本堂【曼荼羅堂】(国宝)

第2章

歴史とともに

當麻寺は 今とともに

さまざまな変遷を繰り返して、歴史に刻まれた中将姫伝説と當麻曼荼羅信仰は、今も當麻寺とともに生きています。

1300年の時を越え
二上山のふもとで出会う
伝説の寺院

葛城市内でも特に有名な観光名所が當麻寺です。広い境内には13の塔頭と、塔や本堂などの主要な堂宇が独特な伽藍配置で建ち並び、東塔・西塔をはじめとする国宝8件、国重要文化財30件も所蔵し、一寺院に集まる国宝数としては全国でも有数の寺院です。寺院内の庭園では、牡丹、蓮、紅葉など四季折々の風景を楽しむことができます。

また、千年以上途切れることなく毎年営まれてきた、聖衆来迎練供養会式(練供養)は、當麻寺とともに地域の人々の信仰の力によって受け継がれてきました。當麻寺は過去の歴史遺産ではなく、今も人々とともに生き続けている寺院であり、浄土信仰の聖地なのです。



梵鐘(国宝)

飛鳥時代の梵鐘の特徴がみられ、天武天皇10年(681)、當麻の地に建立された當麻寺創建時のものであり、今に残る日本最古の梵鐘です。

Taima-dera, 'Temple Standing Still'

Taima-dera Temple is a very famous temple and a tourist spot in Katsuragi City. 13 Tatchus (minor temples on the site of the main temple) and main edifices, such as main temples and towers, are uniquely positioned for temple buildings in a big precinct. In addition, there are 8 national treasures including West Tower and East Tower, and 30 national important cultural properties. In the garden we enjoy views of the four seasons, for example peony, lotus and autumn leaves. The Neri-kuyo (Buddhist ceremonial parade), which has one thousand years of history, has been handed down from generation to generation, and Taima-dera Temple has been preserved, mainly by the power of belief among the local people. Taima-dera Temple is not yet a historic heritage site, but still stands as a part of the lives of people.

聖衆来迎 練供養会式

全国の練供養会式の発祥としても有名で、毎年5月14日の午後4時から、二十五菩薩の来迎により、極楽浄土へ旅立たれる時の中将姫の様子を再現します。二十五菩薩は、菩薩講の講員の人々によって演じられています。



29歳の春に 生きながら 極楽浄土を見た姫

奈良時代、藤原豊成の娘としてこの世に生まれたのが中将姫です。才能と美貌にあふれる心やさしい姫は、天皇からも寵愛を受けていました。ところが実母亡き後、後妻である照夜の前の疎みによって家を出され、父と生き別れとなつてしまいました。その後父と再会するも、亡き母を弔い世の人々の幸せを願うため、當麻寺にて尼となつてお経をあげ続けました。そして、蓮糸を使つて一夜で織り上げたのが「當麻曼荼羅」です。ある日、阿弥陀如来と二十五菩薩が現れ、29歳の春に生きながら成仏したといわれており、その様子を再現した行事が練供養です。當麻寺には中将姫にまつわる行事や寺宝が多く残されています。



中将姫坐像

世の人の幸せを願い、一心にお経をあげ続ける姿に心打たれます。

画像提供 奈良国立博物館



當麻曼荼羅厨子
(国宝)

當麻曼荼羅を安置するために平安初期に作られた長六角形の大型厨子(高さ約5m)。厨子には、室町時代に作られた當麻曼荼羅文龜本(重要文化財)が安置され、本尊として公開されています。

當麻曼荼羅貞享本
(重要文化財)

奈良時代、中将姫によって五色の蓮糸で織り上げられたと伝えられる綴織當麻曼荼羅(国宝)。鎌倉時代以降この奇跡の曼荼羅がある當麻寺は、参拝者を極楽へ導く阿弥陀浄土信仰の拠点と考えられ、大いに信仰されました。写真は転写された當麻曼荼羅の貞享本で、江戸時代に制作されました(非公開)。

日本書紀にも記され 歴史や人を繋いだ 日本初の官道

葛城市には往時をしのばせる道がいくつかあります。そのうちのひとつが竹内街道です。推古天皇の時代に敷設した、飛鳥の都と難波を結ぶ我が国最古の官道（今でいう国道）であることが『日本書紀』に記されています。長尾神社付近から竹内峠を越えて大阪府堺市へと続く約26キロメートルの道となっています。

古くから大和の大動脈として人と文化を結び、大阪府と隣接し和歌山県境とも近いため、人や物の往来が盛んな地でした。金剛山地を通る竹内峠も、明治時代中頃まで、竹内街道の要所としてにぎわっていました。街道沿いには宿場町の名残を伝える屋敷や寺社など、歴史を語る建造物が残ることから、今もなお街道を歩きに訪れる観光客に親しまれています。かつては沿道の集落に松尾芭蕉が滞在し、また、作家司馬遼太郎が幼少期を過ごしたという文学の偉人に縁のある貴重な場所でもありました。司馬遼太郎は、竹内街道につい

1400年の歩み

たけのうちかいどう

竹内街道

敷設から1400年の時を迎えた日本最古の街道。ある時は交易の道として、またある時は文学の道として、多くの旅人を迎え入れてきました。



綿弓塚

松尾芭蕉は苗村千里の案内で竹内に滞在した際に、「綿弓や琵琶になぐさむ竹のおく（『野ざらし紀行』）」という名句を残しました。現在は、その句碑の横に休憩所を備え、街道の歴史にふれることができます。



長尾神社

平安時代の「延喜式」の神明帳に載る古社です。竹内街道・横大路・長尾街道など古代の主要街道が交差する要衝地に鎮座しており、各種産業や交通安全などの神社として信仰されています。



竹内街道・横大路(大道) 1400年活性化事業

平成25年に数設1400年の節目を迎えた日本最古の官道、竹内街道・横大路。周辺地域の魅力を再発掘し、街道の魅力を高め、地域活性化に繋げる取り組みを進めました。

て著書『街道をゆく』で「古代のシルク・ロードともいうべき道」と綴っています。

平成25年には竹内街道が開通して1400年を迎え、竹内街道・横大路(大道) 1400年活性化事業として、葛城市をはじめ、奈良県、大阪府と沿道10市町村でさまざまな関連イベントが開催されました。

1,400 years of history Takenouchi-kaido Road

Takenouchi-kaido Road was opened in the time of Empress Suiko, the oldest road built with government expenditures (now called a national highway), and it connects the capitals of Asuka and Namba, as written in the Nihon Shoki (chronicles of Japan). It was the main road of Yamato Province connecting culture and people for a long time, with busy traffic of people and goods. Historical buildings remain as old mansions, temples and shrines along the road as remnants of a post town. Many people still visit to stroll down the road. Matsuo Basho (poet) had stayed in a road side community, while author Shiba Ryotaro spent his childhood in one. We had the 1,400th anniversary of construction of Takenouchi-kaido Road in 2013, where various events were held by Nara Prefecture, Osaka and 10 different villages, towns and cities located along the road.

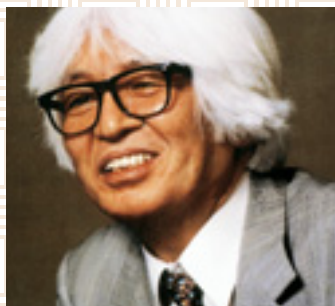


竹内街道を駆けた文学の偉人

幼少期に駆けたまちなみ

司馬遼太郎

司馬遼太郎は3歳まで母の実家がある竹内で過ごしていました。その後も夏休みになると竹内を訪れ、田んぼなどで遊び、竹内街道の峠から見た景色が原風景だと感じていたようです。昭和61年に竹内で行われた講演会では、「長尾から竹内に登る坂が実に印象的だった」と当時の思い出を語っています。また、著書『街道をゆく』の1巻『竹内越』の章では、この街の景色の美しさについて語り、二上山やその夕陽、樹叢(じゅそう)にうもれてかすかに伺える當麻寺などを長尾から眺める風景は「大和で一番美しい」と述べています。



司馬遼太郎

Shiba Ryotaro

本名、福田定一。大正12年(1923)、大阪府大阪市生まれの作家。著書に『竜馬がゆく』『坂の上の雲』など、現在も多くのファンに愛されています。



孝女伊麻

Ima

松尾芭蕉

Matsuo Bashō

元禄文化を代表する俳人、松尾芭蕉は俳聖として世に知られています。一方、孝女伊麻は弟とともに父の長右衛門に孝行を尽くした人で、この物語は『今市物語』として伝わっています。

伝説の孝行娘と俳聖

松尾芭蕉と孝女伊麻

孝行娘の伊麻は、南今市で生まれ竹内で働きながら暮らしていました。ある時、父の重い病にはうなぎが効くと聞き、懸命にうなぎを探し回りますが見つかりません。するとその夜、家の外の水がめにうなぎが入っており、それを食べた父親も元気になりました。松尾芭蕉はこの話を聞いて貞享5年(1688)、旅の途中で伊麻に会いに行き、真の孝行に感動したといわれています。

司馬遼太郎写真提供 司馬遼太郎記念財団 / 松尾芭蕉画像提供(公財) 芭蕉翁顕彰会

江戸末期の竹内街道

聞き取り調査によって作成された江戸末期頃の地図です。当時の竹内街道には、鍛冶屋や饅頭屋、酒屋などがあり、宿場町として繁栄を極めました。



法善寺

芭蕉ゆかりの綿弓塚の近くにある寺で、本堂は350年前、山門は650年前のものと伝えられています。山門脇には孝女伊麻旧跡碑が立っています。



西光院

奈良時代、竹内峠の道が狭くて霊木を通すことができず、その霊木の梢をそいで作ったという身粉(みそぎ)観音が安置されています。

飯豊天皇陵

全長約90mの前方後円墳で、周濠を巡らせています。周辺遺物から6世紀前半の建造と推定。現在は宮内庁により「飯豊天皇埴口丘陵」に指定され、整備されています。



忘れられし女帝

飯豊天皇

国内混乱の危機に立ち上がり、葛城の地で政を執った女帝は、今も人々の記憶に生き続けています。

忍海の地で生き
歴史に忘れ去られた
日本初の女帝

今から1500年以上も前、忍海^{おしみ}には日本初の女帝の推古天皇よりも前に即位した女帝がいました。それが飯豊^{いといとよ}天皇です。第22代清寧天皇と第23代顕宗天皇の間で後継者が途絶えたわずかな期間に政治を行っていた人物です。立派な古墳に眠ることからも天皇に即位していたことは容易に想像できます。しかし『古事記』や『日本書紀』にも、その事実はあるものの天皇としての記載はなく、歴史から忘れ去られた女帝ともいわれています。

Forgotten empress Empress Itoyo

1,500 years ago or more, Japan had the first empress in Oshimi prior to Empress Suiko, and she is said to have been the first empress. She is Empress Itoyo. She governed Japan for a short period of time while there was no successor between the 22nd Emperor Seinei and the 23rd Emperor Kenzo. She is mentioned in the Kojiki (Japan's oldest historical record) as well as the Nihon Shoki (chronicles of Japan), however, she was not recognized as an empress, which is why she is called a forgotten empress. Samio Maekawa, a leading poet of the Showa Era, was also born in Oshimi. The History Museum displays the history of Katsuragi from ancient times till today.



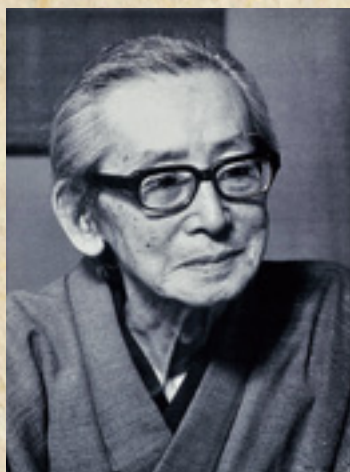
つぬさし
角刺神社と袖の松

飯豊天皇が政務を執った忍海高木角刺宮の伝承地です。東500mの位置には、中將姫が角刺神社の鏡池の蓮から蓮糸がとれたことを感謝して植えたといわれる袖の松があります。

ふるさとを愛した 歌人・前川佐美雄

角刺神社のある忍海の地に生まれた歌人を知っていますか。ふるさと葛城の歌をはじめ、大和の美の世界を表現したモダンイズム短歌を詠み、昭和の歌壇の旗手として活躍した歌人、前川佐美雄です。

明治36年(1903)、忍海で代々林業を営む地主の家に生まれ、東洋大学に入学。在学中、佐佐木信綱に師事し、昭和の時代を通して数々の歌を世に送り出してきました。佐美雄の作品には忍海の白壁の民家を詠んだものや、古墳のある風景など、しば



葛城歌壇

新庄歌壇から続くもので、杵本人麻呂と前川佐美雄の古代・現代の二人の偉大な歌人を記念して、また葛城市の生涯学習の拠点づくりと短歌の故郷「葛城」をめざし短歌の募集を行っています。

しば葛城を思わせる言葉が登場します。また『大和まほろばの記』では自身を「葛城山の麓、忍海の生まれ」と記し、ふるさと葛城を誇る文言があります。数多くの校歌を作詞した佐美雄は、母校の忍海小学校校歌にもふるさとを大切に思うメッセージを込めています。

葛城市は他に『万葉集』を代表する杵本人麻呂などの歌人を輩出したまちです。市主催で短歌を募るなど、市民の中にも歌人の心が息づいています。

葛城の歴史を 次の時代に伝える

飯豊天皇や前川佐美雄が過ごした地、忍海に歴史博物館があります。同館のシンボルマークは地光寺跡出土の鬼面文軒丸瓦をモチーフに図案化されています。蓮花のモチーフが一般的だった古代寺院の瓦の中でも特に珍しいものです。常設展示では葛城市の縄文時代から奈良時代の石器・土器などの考古資料や、竹内街道、當麻寺の紹介、中世の時代の葛



史跡 屋敷山古墳出土の長持形石棺

歴史博物館

常設展では縄文時代の歴史から展示が始まります。葛城市の歴史を時系列で追うことができます。



展示品

葛城市内で出土した石器・土器などを修復して展示しているため、当時の生活様式を想像することができます。



城地域の様子や昭和30年代の生活様式など、古代から現代までの葛城の歴史を知ることができます。

特別展示室では、季節ごとに企画展や特別展も行われます。2階には、200人を収容できるあかねホールがあり、歴史文化講座「葛城学へのいざない」も行われています。歴史を次の時代に伝える役割を果たしています。



寒牡丹

石光寺

中将姫が當麻曼荼羅を織るために蓮糸を染めたとされる井戸が残っています。また、牡丹と寒牡丹の名所としても知られ、季節になると多くの人が訪れます。



Fascinating History Resides in Cultural Properties

Old shrines, temples and ruins are scattered all over Katsuragi City, including locations which became the stage of legend. The powerful Katsuragi Clan from ancient times is resting in Yashikiyama Tumulus, Sekkouji Temple, which has the well which is said to have been used by Chujo-hime to dye lotus threads to weave Taima Mandala, and the story of the tomb of Prince Otsu, a tragic hero of ancient times. These are old tales of cultural properties in the city that are fascinating to people. In Fuefuki-jinja Shrine, peony, winter-flowering peony, and Quercus gilva, which is a prefectural treasure, grew in colonies, suggesting a richness of the area where history and nature exist in harmony.

神話の舞台は
花の名所でもある
歴史物語が眠る土地

葛城市には、神話の舞台となった場所をはじめ、市内各地に遺跡や神社仏閣が点在しています。古代豪族葛城氏が眠る屋敷山古墳や、中将姫が當麻曼荼羅を織るために蓮糸を染めたとされる井戸のある石光寺、悲劇の主人公大津皇子の物語など、葛城市の文化財には古代からの物語が古の魅力となつて人々を魅了しています。牡丹や寒牡丹の美しい石光寺、県指定天然記念物のイチイガシが群生する笛吹神社など、自然と歴史が共生する地域です。ぜひそれぞれの物語を追って歴史に思いを重ねてみてください。

文化財から 古の魅力

はるか昔の歴史の面影を
今に伝える数々の文化財。
古代史を学びながら体感できる
この土地の物語を
追ってみましょう。



置恩寺

行基(ぎょうぎ)の創建と伝わる寺で、所蔵されている桧一木造りの十一面観音立像は国の重要文化財です。

十一面観音立像



屋敷山古墳

5世紀中頃に作られた、古代豪族葛城氏の墓で、王者の棺である長持形石棺は歴史博物館に展示されています。古墳を囲んでいた濠の一部は、現在、公園の池となっています。

大津皇子の墓

天武天皇の皇子として、将来を有望視されていた大津皇子。謀反の罪をきせられ自害させられてしまいます。現在、二上山雄岳山頂の墓は宮内庁によって管理されています。



傘堂

一本足で、傘のような形状をした建物。江戸時代に郡山城主本多候の菩提を弔うために、恩顧の家臣と地元の民によって建立された御影堂です。いつの頃からか安楽往生を祈願する信仰の場所にもなりました。県指定有形民俗文化財です。



博西神社

鎌倉時代の建築様式を今に伝える社殿は国の重要文化財に指定されています。屋敷山古墳の西側に位置することから、かつては墓西神社と記載されていました。



笛吹神社

正式名は葛木坐火雷神社（かつらきにいますほのいかづちじんじや）。音楽の神様としても知られ、正月にはフルートや尺八など奉納演奏が行われています。境内には県指定天然記念物のイチイガシが群生し、広庭には日露戦争後に政府から奉獻された大砲が残っています。



柿本人麻呂

飛鳥時代に序詞、枕詞、押韻などを駆使した格調高い歌風で、自らの感情を短歌に込める作風を築き『万葉集』第一級の歌人と称された人物です。長歌については複雑で多様な対句を用い、長歌の完成者とも呼ばれました。葛城市柿本が生まれ故郷と伝えられていますが、明確な経歴は記録されていません。石見国（島根県益田市）で没したとされる人麻呂を宝亀元年（770）に改葬し、その傍らに社殿を建てたことが始まりとされる柿本神社では、人麻呂を歌の神様としてお祀りするようになりました。

その後は盛んに歌会が行われ、多くの和歌も奉納されるようになりました。柿本神社には人麻呂の像が秘蔵されており、毎年命日の4月18日にはチンボンカンボン祭を行い、人麻呂の供養を行っています。

